

2014 年度インターネット基盤整備基金資産運用報告及び
2015 年度インターネット基盤整備基金資産運用計画案 承認の件

標記の件、資産運用規程に基づき、中長期運用対象財産（運用期間 1 年以上）である、インターネット基盤整備基金資産の 2015 年度における運用計画について、下記の通り進めることの承認を求めると共に、2014 年度の運用の状況につき報告を行う。

1. 2015 年度運用の基本方針等

(1) 基本方針

資産運用規程(2015 年 2 月 18 日改正)に基づき安定的な財政基盤の一助とすると共に効率的な資産管理を行う。

- + インターネット基盤整備基金資産の運用収益は、インターネット基盤整備事業の財源として予算を構成しているため、年度中に確実且つ必要な資金を得られる計画とする
- + 計画に基づく適切な債券及び機会が得られなければ、次年度運用計画時まで銀行預金等で運用する

(2) 2015 年度の運用額について

2014 年度末のインターネット基盤整備基金資産は、合計で約 1,283 百万円の残高(期末評価後)があり、内債券での運用額は 463 百万円である。このため、債券での運用可能原資(現在普通預金ないし定期預金で運用しているもの)は、820 百万円。820 百万円の内、150 百万円は、緊急の場合 2 ヶ月程度法人の運営を可能にするための資金(繰替え運用)として運用せず保有することとしたい。従って、今年度の運用可能額は 670 百万円となるが、将来の金利リスクを鑑み、リスクヘッジとして年度による分散投資が必要と考えられるため、現在の運用額(463 百万円)との合計が 1,000 百万円となる運用額(537 百万円)を上限とし、運用を行いたい。残額 133 百万円については、次年度の運用分として銀行預金で保有する。

- + 過去三カ年度(2011 年度、2012 年度、2013 年度決算値*)の、債券による平均の運用総額は、970 百万円であり、その平均の運用益は 21 百万円であった。三カ年度における収益は決算上各年度の事業費を補填することが出来たと考えられる。
- + 537 百万円を新たに購入した場合、平均で日本国債/20 年物債券のクーポン(2014 年度平均 : 1.31%)を得られるとすると、最低限として 7 百万円程度の利息収益が見込まれる

2. 運用の基本的な考え方

- (1) 資産運用規程に規定される、債券(仕組債含む)を中心とし、複数の債券でのポートフォリオ運用(投資対象商品の分散、運用期間の分散、通貨の分散)を図ると共に取得価額の確保を目指す。
- (2) 外国債券における運用対象通貨は MMF での設定が一般的な通貨とするが、その時点のリスク/リターンを勘案して決定する。
- (3) 債券の満期前の益出し、損切りについては、市場の情勢を注視し、資産運用責任者の判断により、必要な場合には検討を行う。

3. ポートフォリオ運用について

(1) 外貨比率

今年度の運用開始分を含め、基金資産全体の構成の内、預金及び円建債券/ 75%、外貨建債券/ 25%を目安とするポートフォリオを基本(過去計画と同じ)とする。

(2) 運用期間の構成

昨年度立案の計画同様に、構成する債券は最長 20~10 年と 5 年未満に 2 分し、バランスを重視したダンベル型のポートフォリオとする。

<2015年3月31日時点の2015年度運用対象(原資)資産>

運用対象内訳	運用対象金額内訳	備考
2014年度運用原資未執行分	300,000,000	国内債券1年で計画も購入出来ず
銀行預金(普通)運用分	19,960,467	
銀行預金(定期)運用分	500,000,000	コーラブル債(1年満期(9月))
計	819,960,467	

<参考：2015年度中に償還される債券及び償還金額見込み>

銘柄	償還日	償還金額
第17-10回大阪市公債	2016年1月26日	50,000,000
合計		50,000,000

*償還される¥50,000,000については、運営資金の安定性を考慮し、来年度の計画運用対象とする。

<上記運用対象資産の投資(案) > *参考資料1、2参照

運用/債券区分	運用期間	購入予算額	備考
円建債券(仕組債含む)	10~20年	287,000,000	銘柄2~3を想定
円建・外貨建債券	1~5年	250,000,000	銘柄2~3を想定
銀行預金	—	282,960,467	来年度以降の運用に繰越
計		819,960,467	

4. 運用体制

- 運用に関わる事務は総務部で主管する
- 計画に基づく債券の売買の判断は、理事長が行う(理事職務分掌権限規程に基づく)。
- 売買の経過や結果については、資産運用委員会へ報告する。

5. 運用に関する事務手続等

- 投資開始時期は5月13日(水)第109回理事会にて承認後速やかに開始する
- 運用する債券は既に運用債券を購入している国内の証券会社3社の提案より選択し、購入する

6. 報告 2015年3月31日時点での基金資産の運用実績 *2014年度決算値(時価評価)

基金資産総額 1,283,445,145円

年度	期末残高/a	利息収入円/b	利率 % (b/a)	備考
2004	969,825,906	6,603,668	0.68	下期運用開始
2005	983,439,639	28,026,913	2.85	
2006	1,085,280,970	38,075,111	3.51	
2007	1,121,022,907	45,912,203	4.10	
2008	1,218,487,016	29,929,625	2.46	
2009	1,228,807,957	16,757,043	1.36	
2010	1,214,488,386	21,359,115	1.76	
2011	1,239,625,082	19,057,176	1.54	
2012	1,302,727,068	18,153,888	1.39	
2013	1,294,095,880	27,492,829	2.12	
2014	1,283,445,145	13,180,452	1.03	

以上